

なぜ？なぜ？先生

～みんなの不思議～



お彼岸ってなあに？

1年のなかで祝日が16日あります。それぞれの祝日は、どんな目的で定められ、どんな心持ちで過ごすかが決められています。その中に「彼岸」があります。春分の日・秋分の日という二つです。

春分の日は「自然をたたえ、生物をいつくしむ」、秋分の日は「祖先をうやまい、なくなった人びとを偲ぶ」という意味があります。

彼岸という言葉はインドの古い言葉サンスクリット語で「パーラミータ」の漢訳で「到彼岸」の略。此岸（迷いの世界）から彼岸（涅槃・悟りの世界）に至るという意味です。

日本では、春分・秋分の日を中日として前後3日ずつの一週間を「彼岸会」として、春秋の法座が開かれます。

「暑さ寒さも彼岸まで」と古来より言われているように、この過ごしやすい季節に、亡くなった人びとを偲びながら、仏法を尊び、ご縁を結ぶことが「彼岸」の大切な意味だと思います。